

## テーマ

太さの違う電熱線で切断時間を調べてみよう！

## 概要

電熱線の発熱は、その太さによって変わることを確かめます。

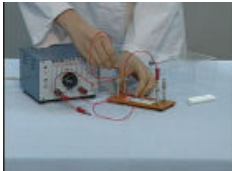
## 準備物

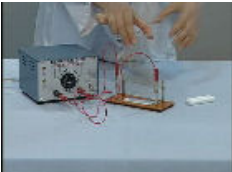
電熱線の発熱実験器、直流電源装置、バナナリード線

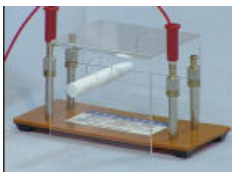
## 注意


やけど注意（高温やけど、低温やけど）、感電注意（感電、ショートなど）


## 実験手順

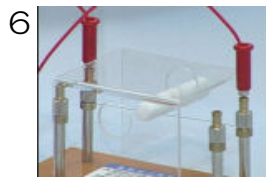
- 1  バナナリード線を使って、発熱実験器の細い電熱線と電源装置をつなぎます。

- 2  発熱実験器の細い電熱線が切れていないことを確認し、発熱実験器の安全カバーをかぶせます。

- 3  安全カバーの穴から発泡スチレン棒を細い電熱線の上だけにおきます。

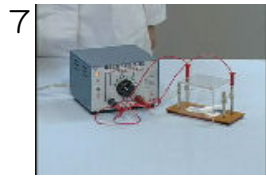
- 4  電源装置を3Vにして電源を入れ、発泡スチレン棒が切れるまでの時間をはかり、発泡スチレン棒が切れたらすぐに電源を「OFF」にします。

- 5  バナナリード線を使って、発熱実験器の太い電熱線と電源装置をつなぎます。



発熱実験器の太い電熱線が切れいないことを確認し、安全カバーの穴から発泡スチレン棒を太い電熱線の上だけにおきます。

---



電源装置を3Vにして電源を入れ、発泡スチレン棒が切れるまでの時間をはかり、発泡スチレン棒が切れたらすぐに電源を「OFF」にします。

---

### 実験結果

電熱線が太いほど早くあたたまり、温度が高くなる。

### 製作・著作

株式会社ワオ・コーポレーション

### 協力

ケニス株式会社

### リリース年

2009年